

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	30.0	自校A B層の割合	45.0
令和5年度の成果	自校A B層の割合	25.1	自校A B層の割合	40.4

目標達成に向けた取組				
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立	
学校全体の取組	定期考査や小テストの結果分析に基づく授業改善を継続する。	- build-up time、放課後補習教室等、学習内容の定着を図る学習の機会を充実させる。 - 学び方を意識づける。	- 定期考査前2週間に学習計画表を活用し、目標・計画・振り返りの習慣定着を図る。 - SBSを活用し毎日家庭学習に取り組ませる。	
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	校内研修を通じ具体的な支援方法について共通理解を図る。	授業のユニバーサルデザインの推進、質問教室等、全体・個別支援を充実させる。	努力すれば達成できる目標設定を意識させ、成功体験をさせる。	
成果指標	「全国学力・学習状況調査」調査実施教科の「授業の内容はよく分かる」の質問項目に対し、肯定的回答80%以上を目指す。	「全国学力・学習状況調査」学習方法に関する質問項目に対し、肯定的回答70%以上を目指す。	「全国学力・学習状況調査」家庭学習に関する質問項目に対し、「平日1時間以上」の回答70%以上を目指す。	